

平成 21 年度まちづくり懇談会会議録【町部地区】

日 時 平成 21 年 7 月 21 日 19 : 30 ~

会 場 市民集会場

参加者 45 人

副病院長からの「地域医療を守り育てる」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

懇談(質疑応答)

菊川市立総合病院や地域医療に関すること

日吉町自治会より:医療費について

現行の菊川病院に通院していて、菊川病院から個人医院に紹介された場合に同等の医療費でしょうか

副病院長

菊川病院(200床以上)と診療所(個人病院)では、特定初診料や再診料、紹介状のあるなし、治療方策などにより、医療費が異なります。

また、病院と診療所はそれぞれに機能分担があり、病院は緊急を伴う患者様の処置や診療を主に実施するので、医療費が異なります。

初咲町自治会より:公的病院の常勤医減少(医師不足)の現状は、どう対応していくか
医師不足の現状はどうか(診療科目・医師数)

なぜ医師不足はおこっているのか。医師数全体は増えている。

(主たる理由は2004年4月からの医師の新しい研修制度の影響と思われるが)

どう対応していくのか。具体的に住民に求めることは何か

例:なんでも公立病院はやめる(まず、かかりつけ医 公立病院)

夜間救急外来の利用・・・4月からの現状はどうか

菊川市立総合病院が、地域の病院としてどのようなことに取り組んでいるのか

副病院長

現在、診療科は13科で、医師数は現在27人であり、厳しい状況が続いています。

2004年(平成16年)からの新研修医制度などが影響しています。また、自己都合による病院へ掛かる患者さまが増加したことも原因の一つです。

かかりつけ医を作っていただきたいことと、自己都合的な受診は止めるようお願い

します。

医師を確保しながら、回復期リハビリテーション病棟と精神科病棟の改修などで収益を上げながら、健全経営に努め、地域医療を守って行きたいと考えております。

会場からのご意見・ご質問

男性

毎年、医師が増員されているとおもいますが、どうして医師の不足は起きているのでしょうか？大都市は不足していないと思います。問題は、新研修医制度が影響しているのでしょうか？

副病院長

大都市の病院には、何百人という医師がいます。大都市に医師が偏在しているのは事実です。そのため、地方を中心に医師が不足していると言われていています。ただし、各病院間において機能分担があり、医師が大勢いても直ちに充足しているということにはなりません。新研修医制度が影響しているということは、確かなことだと思いません。

男性

病院と診療所（開業医の先生）において、医療費を同額にしてもらえませんでしょうか？

副病院長

お気持ちはわかりますが、国が取り決めている診療報酬がありますので、医療費を同額にすることはできません。

まちづくり全般に関すること

日吉町自治会より：駅北開発について

駅北の旭テック跡地に何ができるのでしょうか。

宅地であれば高齢者に便利なスーパーマーケットがあれば便利だと思いますが、いかがですか。

駅に通じる陸橋を作る予定がありますか。

高齢者が利用する近道があれば助かると思います。（橋上駅では費用が掛かり過ぎるため）

総務企画部長

駅北開発についてご質問いただいております、駅北の旭テック跡地に何が出来るのでしょうか?というご質問でございます。

本年1月に旭テックさんが、敷地の東側約11,000坪を、遠州鉄道さんに売却することが決定し、今年2月から建物解体に着手されております。解体工事は、今年10月末位まで掛かると聞いております。その跡地はどうかですが、1月頃の新聞には「分譲を中心とした宅地開発を検討する」という内容で出ていましたが、その後いろいろ情報を聞いていますが、まだ決定したことではないようで、遠州鉄道さんでは、現在どのように、この土地を利用していか、開発計画について検討を進めていると聞いております。遠州鉄道さんが今回入手された土地は、東側駐車場等、飛び地もあり、全体をどのように生かしていくのか、土地の持つ特徴や立地条件を生かした土地利用を考えておられるのではないかと伺っております。残念ながら、今の時点でスーパーが出来ますよとか、このような施設ができますよと、お答えすることができなくて申し訳ありません。市としましては、駅北地域は重要な地域というふうに位置づけておりますので、遠州鉄道さんの計画に注目して見守りし、旭テックさんも含めた三者の間で連絡体制を密にし、積極的に情報を交換していきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

それから、駅北から駅南に通じる陸橋を作る予定はありますかとのことですが、JR菊川駅の駅前広場が整備され、朝日線のアンダーパス事業も24年度の完成に向け着々と工事が推進されているところですが、地域の皆さまの駅北口の開設、又は駅北と駅南を結ぶ通路に対する期待は、大きなものであると認識しております。また、菊川市の発展を考える上で重要な位置付けを持つ構想であると認識しております。

しかし、橋上駅の建設や自由通路につきましては、近隣駅の整備事例から、大きな費用を要する大事業となることが見込まれます。提案いただいております陸橋も、高齢者の方にも使いやすい、雨・風を防げる通路となりますと、自由通路と呼ばれる橋上駅に近い施設となり、大きな事業費がかかってしまうことから、現時点で、橋上駅、自由通路を建設する具体的な計画はありません。

市の財政状況、将来の負担等を考えますと、あの事業も、この事業もやりますよとはなかなか言えません。まずは菊川市の南北地域連携を強化する重点事業として整備を進めております「主要地方道掛川浜岡線バイパス整備事業」など、現在進めています事業を早期に完成させ、それらの事業効果を出すことを優先したいと考えておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

新道自治会より:駅への歩行者用アプローチについて

駅への歩行者用アプローチは、安全最優先ということだろうが、あまりにも歩行者

心理等、現実を無視している（掛川駅は歩行者優先になっていると思うが）、スクランブル交差点を考えてもらいたい。

建設経済部長

駅への歩行者用アプローチということでありまして、一般車輛の送迎用ゾーンのところから駅舎内に入るためには、現在、東側をぐるっと回っていただいて駅舎に入るような形をとらせていただいております。いわば駅への直接的なアプローチができないではないかということで大変不合理を感じていられるのではと推測いたします。確かに十分理解するところでございます。

ただ、この駅前広場の建設にあたりましては、歩行者の安全を確保するんだということで、公安委員会と度々協議を重ねてまいりまして、その結果として現在のよう形に建設をさせていただいております。いずれにせよ結果として今あるものですから、これはずっとこのままで行くのかといいますと、必ずしもそうではないけれども、すぐ変えることができるかということ、そうもいかないだろうということで、まだ建設が完全に終わった駅広ではございませんし、また、あそこは供用が開始されてからまだ時間が経っていませんので、とにかく今の状態でもうしばらく運用していきたいと考えていますので、ご不便をおかけすることもあるかと思いますがご理解をいただきたいと思っております。

それから、スクランブル交差点の関係でございます。駅を出て正面の交差点がありますけれども、これをスクランブルにしようかといった提言をいただいておりますが、交差点につきましてはまず、歩行者の方の人数、車の台数、そういったものを総合的に判断して交差点が造られたわけでありまして、現在の歩行者の数、それから東西に走っている車の数、こういったものを考えていきますと、仮にあそこをスクランブル交差点にいたしますと、歩行者の数が端的に申し上げて非常に少ないという状況の中で、車が待っている時間が大変長くなってきてしまいます。そういったことを含めまして今、スクランブルにはなっていませんが、警察の方で現在の信号機の時間調整を秒単位で調整をかけて、できるだけご不便をかけないようにやっております。スクランブル交差点のご意見をいただいたことにつきましては菊川署にお伝えしておきます。

柳町自治会より：屋根樋への公園樹木の落ち葉対策

年齢とともに除去作業も危険度を増し、近年ではシルバー人材センターへ依頼して除去を行っている現状である。公園内の高木の総点検をする必要を感じる。

建設経済部長

公園樹木の落ち葉が雨樋等につまって困るよというようなことですが、最初に高木

の落ち葉によってご迷惑をおかけしていることにつきましては、心からお詫びを申し上げます。市といたしましては、都市公園の緑花木の剪定につきましては毎年行っていますが、公園の景観や環境を保つためにやっております、可能な限り自然の状態が高木を育てていきたいと考えているところです。また、限られた予算の中で、いろんな公園を踏査する中で優先度の高い箇所から順次行っております。

今回ご質問いただいた件は、去る4月に柳町自治会からのお話があり、現場を見させていただきました。4月にはご理解していただけるような回答は出来ませんでした。現場の状況など見せていただきまして、結果として高木の剪定の優先度は高いと思いますので、今年度の予算の中で剪定を行いたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

尚、実施時期につきましては秋頃を予定しておりますが、時期が来ましたら、担当課である都市計画課より自治会へご連絡をさせていただきますので、ご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

初咲町自治会より：不況のため税収減となっているが、各種の未納の現状と取組みは各種の未納金の現状は・・・市税・健康保険・介護保険・給食費・保育園・幼稚園の経費について、具体的に

どう対応しているのか・・・いつ・だれが未納者にどう働きかけているのか、具体的に、その成果は

総務企画部長

未納の状況でございますが、9月に開催される決算議会でお認め頂いておりませんが、決算に向けた数字ということでお聞きいただきたいと思います。平成20年度末現在の市税（市民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税）の未納額は、およそ4億9,700万円でございます。国民健康保険税は、2億9,700万円でございます。この中で特に未納額が多い個人市民税は、その未納者の半数以上を外国人が占めているのが現状でございます。それからどういう対応をしているかということでございますが、平成20年4月から「徴収対策室」を設置し、税務課や市民課国保係とともに8月に滞納整理や4月と9月に電話催告を行っております。また、職員全員による一斉滞納整理を21月に実施するなど徴収強化に努めています。

これは通常、徴収対策室は毎日徴収について務めているわけですが、特に強化月間を設けているということでございます。

それから外国人に対する対策ですが、ポルトガル語やタガログ語といったブラジル人・フィリピン人の母国語の納税催告書を作成したり、派遣会社を通じて催告したり、また、ポルトガル語通訳を採用して納税交渉にあたるなどの対策を行っております。

また、これらの納税催告に応じない方や納税約束を守らない方に対しては、財産の

差押をするなど滞納処分を行っています。

さらに高額滞納者や悪質滞納者については、平成20年4月に発足した「静岡地方税滞納整理機構」や「静岡県磐田財務事務所」に徴収の移管をするなどして県等と協力して滞納整理を行っている状況でございます。

成果としては、市税及び国民健康保険税合わせて、前年度に比べ、およそ2,500万円の徴収金額が増えている状況になっております。

男性(再質問)

今の市民税の件ですけれども、年金生活者は、市民税に関しましては年金から即引かれるように法改正されているようです。年金でない方は、何かその辺で考えられることはないでしょうか。

総務企画部長

今のご質問でございますが、年金者に対してどうするかということですが、未納の方につきましては納税相談等を行うなかで、徴収を促していくという風に考えています。それぞれのお宅によりまして税金の未納という状況が、どういう状況で発生しているかということがございます。そのいった中で職員等が判断する中で徴収に努めていくという風に考えています。

男性(再質問)

今までの未納の話ではなくて、これから発生する徴収分を年金から引けば、今までの滞納分だけはなんとかしなければいけないけれども、これから発生することはないということにはならないですか。年金が出されるときに引かれるわけだから、完全に未納者はなくなるわけですよ。年金生活者に対しては、そういうような格好はできませんかということです。

企画政策課長

年金からの特別徴収などの制度の話ですので、後でまたお答えさせていただきます。

会場からのご意見・ご質問

緑ヶ丘 男性

実は、昨年もこの市政懇談会ということで8月3日にここの会場で会合があり、その時に私はいわゆる敬老会のやり方を見直すべきではないかという提案をさせていただきました。ちょうど私も今年の3月まで緑ヶ丘の班長をやっておったものですから、ちょうど1月に福祉課が中心となって全自治会からのこの敬老会のあり方、見直しに

ついてアンケートをやったわけです。ところが、その結果が全自治会からせっかくアンケートをとっておきながら何らそれが対応されない。それだもんですから、今年の3月下旬だと思いますが、福祉課長のところに私は電話をいれました。

「この前、全自治会からアンケートをとっていたけれども、その集約はできたのですか、その集約に基づいて敬老会の見直しをどういう風に市としては考えているのですか」という質問をしたら、アンケートの集約はできました。それからアンケートの集約に基づいて連合自治会長を中心にして、いわゆる簡単に言えば敬老会の見直し委員会を、名称は何というかわかりませんが、そういう委員会を立ち上げて議論をして、少なくとも6月の下旬か7月の上旬までには連合自治会長を通じて、各自治会長さんにはお答えができると思います。こういうお返事だったわけです。ところがもう今日は7月21日です。全然やっていることと言っていることの整合性がない。したがって、菊川市としては今年の敬老会のやり方については、従来の方法を変える考えがあるかどうか。これをまず1点、

それから先ほどの日吉町さんの駅北開発の関係についてですけれども、実はこれはもう古い話になりますが、十年ひと昔といえますから、もうふた昔も前です。昭和61年、私がまさに国鉄に在職していた時に、現職の町議会議員が私のところに来て、実は菊川町で駅の北口を作りたいという話が持ち上がっております、まだ具体的に話が決まったわけではないと、だけれども具体的にになったときに、菊川町と当時の国鉄の静岡鉄道管理局のいわゆる協議をする窓口、このつなぎをとっていただけませんかという依頼がありました。これは元町議会議員ですから、その人の名誉のためにもあえて名前は伏せさせていただきますが、先ほど市当局の方から説明があったように、今、旭テックさんがああいう工事を、三井住友建設さんが10月までにやる、私の聞いている範囲では、あそこに相当の5階から8階建てのこの辺でいえば高層のいわゆる集合住宅、マンションが出来るということをしております。そうすると、この駅の北口の用地を8階建てのマンションが建ってしまうからでは、とても用地を買収するという事は、恐らく困難だと思うわけです。ですから、この菊川市の長期の将来ビジョンとして、現在のJR菊川駅の北口を作ることが、そのビジョンの中に含まれているのかどうか、この2点についてお答えをいただきたい。

市民生活部長

敬老会のあり方の関係ですが、昨年ご提案をいただきましたがその結果がまだ報告されていなく誠に申し訳ございません。担当課に早急に報告できるようなことを指示をいたします。それから従来の方法と変えるのかという敬老会のあり方ですが、昨年服部さんから提案いただいた内容については、年齢制限だとか節目ふしめをとらえた年齢での敬老会はどうかというご提案をいただいたと記憶しております。先ほど申しましたように、アンケートをとりまして、現在内容を若干変えていこうという議論を

している内容につきましては、記念品のあり方とか、昼食のあり方、そういったものについて少し本年は変えていこうということで、ご提案をいただきました年齢を78歳とか80歳とか節目ふしめというところの議論にまでは、まだいたっておりません。ただ非常に貴重なご提案をいただいたものですから、少しずつでも見直しをしていきたいと思っております。昨年も財政状況を踏まえた中でお話をされて、改善すべきところは改善した方がいいのではないかとのご提案でしたので、それは十分に意を汲んで今後ともいろいろな改善を、見直しをはかっていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

企画政策課長

駅北開発の関係につきましては、私の方から説明させていただきます。確かに旧菊川町時代に駅北開発構想ということで、駅の北側について構想の段階で検討しようということで検討した経緯がございます。また、JRさんと橋上駅等についての、まだ決定して何か協議をしたわけではないですけれども、JRさんにどういった手続きをとればいいのかとか、そういったことで話をしたという記録が残っていることも事実でございます。じゃあ、それが消えてしまったのかということですが、あくまでも構想でございまして、まだ正式に決定したものではなかった。それから旧菊川町と小笠町と合併し菊川市になりまして、橋上駅の場合はやはり自由通路を含めて、約30億余の事業費がかかりますので、当然大きな将来の負担も必要となってきます。ですから簡単にそういった構想があったからすぐやりますよとかいう話はできません。やはり先ほど少し説明がありましたように、あれもこれもという訳にはいかないものですから、新市となって重点的に継続していく事業をまずやりましょうということ。その後で市の総合計画等の中で検討させていただく中でどうするかということを検討していくこととなります。ですから今、正式に決定したものがあるかといわれますと、今の時点ではございませんというのが答えになります。

緑ヶ丘 男性(再質問)

もう一度確認をさせていただきますけれども、駅北口を作りたいという構想はあるにはあったわけですね。だけれども、今の答えですと、将来にわたって駅の北口を作る考えは今のところないというご答弁に解釈して宜しいですか。

企画政策課長

まず、構想はありました。そういったちゃんと計画書もございます。将来にわたって作るか作らないかは今の時点では決まっておりません。土地は全部売るわけではございません。旭テックさんも半分くらいで、駅の正面は、旭テックさんの土地、駐車場として残ります。ですから、今ここでやらなければ永久に途絶えるということでは

ないという風に理解しております。

緑ヶ丘 男性(再質問)

私も実は、この頃ずっとウォーキングであそこの周りをちょうど一回り見ているんです。だから北口を作るという将来ビジョンの中にそういうものがあるとすれば、今のうちに用地だけでも確保しておかないと、先ほどいったように5階建てや8階建ての大きなマンションが連立してしまってからでは、もう時すでに遅しということになってしまいますよ。だから菊川市の将来展望についてそういう構想があるのかどうかということをもう一度確認しておきます。

企画政策課長

長くなりますけれども、今の時点では菊川市として駅の橋上駅、それから北口を作るという計画は今ありません。ただ将来作らないかというのは私が今の段階ではお答えできません。

一丁目 男性

堀之内体育館の老朽化ということで、今後改築とか新築の予定はありますか。また、菊川駅に今、外トイレがありません。トイレの設置予定がありますかという質問です。お願いします。

企画政策課長

トイレにつきましては、設置をしたいということで、今、庁内で設計の内容について検討をしております。ただ予算化がはっきりしていませんので、出来るか、出来ないかというのは、今の時点でははっきり言えませんが、作っていきたいという考えの中で今設計を前向きに進めております。堀之内体育館につきましては、具体的に改修するとか立て替えるという計画は、今の時点ではもっておりません。

閉会 (21:44)